

高等学校 令和7年度（3学年用）教科 商業 科目 ビジネス法規

教 科： 商業 科 目： ビジネス法規 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組（選択科目）

教科担当者：

使用教科書：（東京法令出版 「ビジネス法規」 ）

教科 商業 の目標：

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 ビジネス法規 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネス法規について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 第1章 法の概要 1 ビジネスに関する法の役割 2 法の体系と解釈・適用 3 権利・義務と財産権 【知識及び技能】 法の概要について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 法の意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて見出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 法の概要について自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・PC、一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ビジネスに関する法規について、役割、法体系、権利・義務などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 慣習や道徳をはじめ法慣習についてや権利・義務のあり方、制限行為能力者制度など、具体的な事例と関連付けながら思考できている。 【学びに向かう力、人間性等】 社会規範としての法の意義や特質を理解し、自らも権利・義務の主体として、自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	10
	単元 第2章 企業活動と法規 1 株式会社の特徴と機関 2 契約 3 資金調達と金融取引 4 組織再編と清算・再編 5 競争秩序の確保 【知識及び技能】 企業活動に係る法規について、企業における事例と関連付けて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 企業活動に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、課題への対応策を考案して実施し、評価・改善することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 企業活動に係る法規について自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・PC、一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 民法に規定された13種類の典型契約、意思表示の無効や取り消しなどの知識が身についている。 債権・債務の関係やその変動などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 民法の典型契約について具体的にイメージできる。 代理制度について、ビジネスとの関係で具体的にイメージし、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 企業活動の基礎、契約、意思表示、ビジネスとの関係における法規について、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	単元 第3章 知的財産と法規 1 知的財産の種類 2 知的財産の重要性 【知識及び技能】 知的財産の種類や保護、重要性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 知的財産の特徴をふまえ、企業などにおける具体的な事例と関連付けて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 国内外における知的財産の保護に関する法規について、主体的かつ協働的に学んでいる。	・指導事項 ・教材 ・PC、一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 知的財産の種類や特徴、その重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 企業の事例から、知的財産の保護の重要性などについて、自分自身の言葉で説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知的財産の保護のみならず、ビジネスにおける情報の保護の重要性、日本における課題などについて、主体的かつ協働的に学習しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	単元 第4章 税と法規 1 税の種類と法人の納税義務 2 法人税の申告と納付 3 消費税の申告と納付 単元 第5章 企業責任と法規 1 法令順守と説明責任 2 労働者の保護 【知識及び技能】 企業責任や税に関する法規について、企業における事例と関連付けて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 企業における税の申告と納付や企業の責任などに関する課題と発見し、法的根拠に基づいて税に関する責任を果たす方策を考案し、評価・改善できる。 【学びに向かう力、人間性等】 税に係る法規や企業の法的責任などについて自ら学び、法規に基づく税に関する適切な手続きを主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・P C、一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 課税主体や税金の納め方による税金の分類やビジネス活動において課せられる税金の種類とその概要について理解している。 コンプライアンスやアカウンタビリティについて理解している。 労働者の権利義務や、労働三法の概要などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 累進課税制度のメリットやデメリットについて考え、自分自身の言葉で説明することができる。 法人の確定申告の流れについて、具体的なイメージをもつことができる。 コンプライアンスやアカウンタビリティの重要性を自分自身の言葉で説明することができる。 民法の規定がどのように労働法で修正されているかについて考え、自分自身の言葉で説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 税金の種類とその分類、法人や不動産に関する税金、税額決定の考え方や手続き、内国法人・外国法人の納税義務などについて、主体的かつ協働的に学習しようとしている。 コンプライアンスやアカウンタビリティについて主体的かつ協働的に学習しようとしている。 ビジネスにおける労働者の保護の重要性、日本における労働者の保護に関する課題などについて、主体的かつ協働的に学習しようとしている。	○	○	○	26
	定期考査						1
3 学 期	単元 第5章 企業責任と法規 3 消費者の保護 4 情報の保護 5 紛争の予防と解決 【知識及び技能】 ビジネスにおける消費者の保護や情報漏えい防止に関する責任の重要性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 感覚を生かしたプロモーション活動等を事例と関連付けて考察する。	・指導事項 ・教材 ・P C、一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 個人情報保護や、サイト等の情報の法的な取り扱いなどについて理解している。 紛争防止及び紛争解決に関する法規について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 今日の情報化社会における、情報保護の重要性について自分自身の言葉で説明することができる。	○	○		8
	商業経済検定試験対策授業	・検定模擬問題集	【知識及び技能】 既習内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 既習内容を基に正しい答えが導き出せる。	○	○		6

